

日本小児科学会
福島第一原発事故の健康障害を検討するワーキンググループ報告

日本小児科学会 福島第一原発事故の健康障害を検討するワーキンググループのまとめ

日本小児科学会福島第一原発事故の健康障害を検討するワーキンググループ委員長¹⁾、同 委員²⁾、同 担当理事³⁾

田代 聡¹⁾ 小池 健一²⁾ 杉浦 紳之²⁾ 高松 勇²⁾
横谷 進²⁾ 河島 尚志³⁾ 竹村 司³⁾ 玉井 浩³⁾

- ・東京電力福島第一原子力発電所事故（以下、原発事故という）に伴う放射線被ばくによる健康障害に関連する多数の論文が委員より提出され、ワーキンググループにおいて検証を行った。
- ・原発事故直後の小児甲状腺の被ばく線量調査の実施状況について確認を行った。
- ・福島県県民健康調査詳細調査に位置付けられている甲状腺検査について、外部識者による報告を受けた。
- ・これまでに原発事故に伴う放射線被ばくによる健康被害に関する様々な報告がある。現時点では、結論するには十分なエビデンスが蓄積されていないため、今後も健康被害に関する検証が必要である。
- ・原発事故の放射線被ばくによる健康障害を考える上で、医療放射線被ばくの健康影響の問題も非常に重要であることを確認した。
- ・一部の委員より、以前の小児科学会の提言*の修正を提案されたが、議論の結果、修正しないこととした。

以上の結果、2年間小児科学会 WG 委員にて討議を行い以下のことを結論とする。

「日本小児科学会としては、原発事故に関連するどのような健康被害がであろうとも子どもに寄り添う姿勢である。原発事故の放射線による身体的な被害は未だ検証中であり、現時点で学会員ならびに国民に結論的に提言するものはない。ワーキンググループの継続に関しては、新たな情報が出た段階で再度検討することとする。同時に会員内外の積極的な議論を歓迎するものである。」

※

小児への放射線被ばくの健康影響について (2011. 5. 19)

http://www.jpeds.or.jp/uploads/files/touhoku_14.pdf

小児への放射線被ばくの健康影響について：追加資料 (2013. 7. 22)

http://www.jpeds.or.jp/uploads/files/saisin_130722.pdf